

平成23年10月1日

各位

株式会社日本海水

代表取締役社長 金澤 正博

小名浜工場の状況について

東日本大震災により被災されました皆さまに心からお見舞い申し上げます。

小名浜工場は、3月11日に発生した東日本大震災により、緊急停止し、塩事業の生産ラインにつきましては、依然、操業を停止いたしております。

震災当初は、工場敷地の地盤沈下・液状化等の被害を受け、さらには関連の港湾施設も津波の被害を受けたことにより工場全体が操業停止に陥りました。その後、吸着剤のリードや水酸化マグネシウムなどの環境事業の生産ラインは順調に復旧を果たすことができました。しかしながら、主力の塩事業につきましては、原発問題による放射性物資の影響から未だに復旧作業に着手できない状況となっております。

弊社といたしましては、塩事業の生産ラインを早期に再稼働させたいと考えておりますが、福島県企業局による調査において、4月以降、断続的に放射性物質が検出されるなど原発問題収束の目処が立たない現段階におきまして、弊社は周辺環境や製品の安全性を考慮し、再稼働の時期について最終決定に至っておりません。

なお、塩製品の供給体制といたしましては、赤穂・讃岐両工場におきまして、全力で緊急増産を実施し、お客様への供給量を確保いたしておりますが、増産によっても製品供給に不足が生じる場合は、代替品を確保することにより、お客様各位にご迷惑をおかけしないよう、最大限の努力をして参ります。

お客様各位にはご心配とご迷惑をおかけいたしますが、弊社としましては全社をあげて製品の安定供給に努めてまいりますので、何卒、ご理解とご協力のほどお願い申し上げます。

以上